作成日：2026 年　6 月　22 日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

向精神薬の便秘への影響

１．研究の対象および研究対象期間

2020 年 1 月 1 日から 2020 年 4 月 30 日までに埼玉森林メンタルクリニック、昭和医科大学附属烏山病院、昭和医科大学横浜市北部病院メンタルケアセンターの精神科外来で、及び 2023 年 1 月 1 日から 2023 年 4 月 30 日までに昭和医科大学病院附属東病院の精神科外来で便秘症に関するアンケート調査を行った患者

２．研究目的・方法

本研究は、便秘症患者の背景、症状、治療内容および治療経過を後方視的に解析し、日常診療における便秘症診療の実態を明らかにするとともに、患者への適切な情報提供や診療の質の向上に役立てることを目的とする。また、その結果を広報誌等を通じて一般市民へ分かりやすく発信し、便秘症に対する正しい知識の普及に貢献することを目的とする。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから　2027 年　3 月　31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテに保存された診療録とアンケート結果を用いた後方視的観察研究である。対象患者の診療情報を符号化した上で収集し、性別、年齢、診断、体重、罹患期間、治療期間、BMI、ストレスの有無、喫煙、便秘年数、排便頻度、運動習慣、便秘の自覚、既往等について集計・解析を行う。解析は統計学的手法を用いて実施し、個人が特定される情報は一切公表しない。

５．外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のＩＤを付与することで符号化します。符号化した診療情報は、昭和医科大学附属東病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和医科大学附属烏山病院、昭和医科大学病院附属東病院、昭和医科大学横浜市北部病院メンタルケアセンターへ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

６．研究組織

研究責任者	昭和医科大学病院付属東病院	沖野　和磨
研究分担者	昭和医科大学病院附属東病院	関静香
	昭和医科大学病院北部病院	冨岡大、山田浩樹
	昭和医科大学附属烏山病院	鈴木洋久

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院附属東病院　　氏名：関静香

住所：東京都品川区西中延 2-14-19　　電話番号：3682